

第八次(前期) 和歌山県医師確保計画の概要

■ 計画期間 令和6年度～令和8年度

■ 計画の位置づけ 第八次和歌山県保健医療計画の一部として策定

■ 計画策定の趣旨 国から提示された医師偏在指標を踏まえ、地域に応じた医師確保対策を推進することで、県内の医師偏在解消をめざす

医師確保計画

(1) 医師偏在指標と医師多数・少数区域の設定

全診療科

医療圏名	偏在指標	全国順位	区分 ※	
和歌山県	274.9	10	医師多数県	
二次医療圏	和歌山	347.0	17	医師多数区域
	那賀	194.8	180	
	橋本	217.2	113	
	有田	180.8	218	
	御坊	243.9	79	医師多数区域
	田辺	216.5	115	
	新宮	162.2	264	医師少数区域

※全国の上位1/3を医師多数、下位1/3を医師少数と設定

(2) 医師確保の方針

- ・医学部地域枠を継続し、将来にわたり地域医療を担う医師を確保
- ・県内臨床研修病院の魅力等を発信することで、県内での研修医を確保
- ・勤務環境の改善や指導体制の充実を図り、県内への医師の定着を促進

(3) 目標医師数

	国が提示した 目標医師数	県としての 目標医師数	※参考 (R2統計) 医療施設従事医師数
和歌山県	2,113人	3,090人	2,840人

(4) 主な施策の方向

区分	施策の柱	主な施策 (方向性)
短期	医師の派遣調整	・公立病院等やへき地診療所への医師派遣 等
	特定診療科医師の確保	・返還免除付き研修資金等貸与制度を活用 等
中期	キャリア形成支援	・若手医師のキャリア支援体制を充実 等
	臨床・専門研修医の確保	・魅力ある研修を提供、県内外へ積極的にPR 等
長期	医学部定員の確保	・地域枠制度により本県で勤務する医師を養成 等

うち、産科・小児科における医師確保計画

(1) 医師偏在指標と相対的医師少数区域の設定

産科

医療圏名	偏在指標	全国順位	区分 ※	
和歌山県	9.6	30		
二次医療圏	和歌山	10.5	93	
	那賀			
	有田	8.8	141	
	橋本			
	御坊	9.5	116	
	田辺	6.6	219	相対的少数
	新宮	8.3	159	

小児科

医療圏名	偏在指標	全国順位	区分 ※	
和歌山県	130.4	5		
二次医療圏	和歌山	122.3	95	
	那賀	137.4	48	
	橋本	91.5	204	相対的少数
	有田	83.0	238	相対的少数
	御坊	138.0	44	
	田辺	149.5	28	
	新宮	156.5	23	

※全国の下位1/3を相対的医師少数と設定

(2) 医師確保の方針

- ・県内で産科・小児科の専門研修を行う専攻医を確保
- ・勤務環境の改善や指導体制の充実を図り、県内への医師の定着を促進
- ・女性医師が継続して勤務できるよう、子育て支援策を充実

(3) 目標医師数

産科	※1 (R4) 分娩取扱産科医師数	小児科	※2 (R2) 医療施設従事医師数				
	国提示 目標数	県 目標数	※1 参考		国提示 目標数	県 目標数	※2 参考
和歌山県	56.9人	64人	61人	和歌山県	103.0人	161人	143人

(4) 主な施策の方向

施策の柱	主な施策 (方向性)
産科・小児科医師の確保	・返還免除付き研修資金等貸与制度を活用 ・詳細な専門認定の早期取得に向けキャリア形成を支援 等
周産期医療・小児医療の提供体制の確保	・専攻する地域枠医師を公立病院に派遣 ・周産期母子医療センター勤務医師の処遇改善を支援 等